



TAKUYA FUJINAGA

藤永 拓矢

大阪公立大学
大学院工学研究科
機械系専攻 助教

SBIRでの 取り組み

高精細な植物デジタルツインを同時生成する 葉芽採取エンドエフェクタの開発

SBIRでは、「高精細な植物デジタルツインを同時生成する葉芽採取エンドエフェクタの開発」をテーマに、農作物生産における普遍的な作業である葉かきや芽かきの自動化を目指し、葉や芽を採取するエンドエフェクタの技術開発に取り組んでいます。さらに、農業ロボットを自然言語で指示できるフレームワークの構築も担当しています。

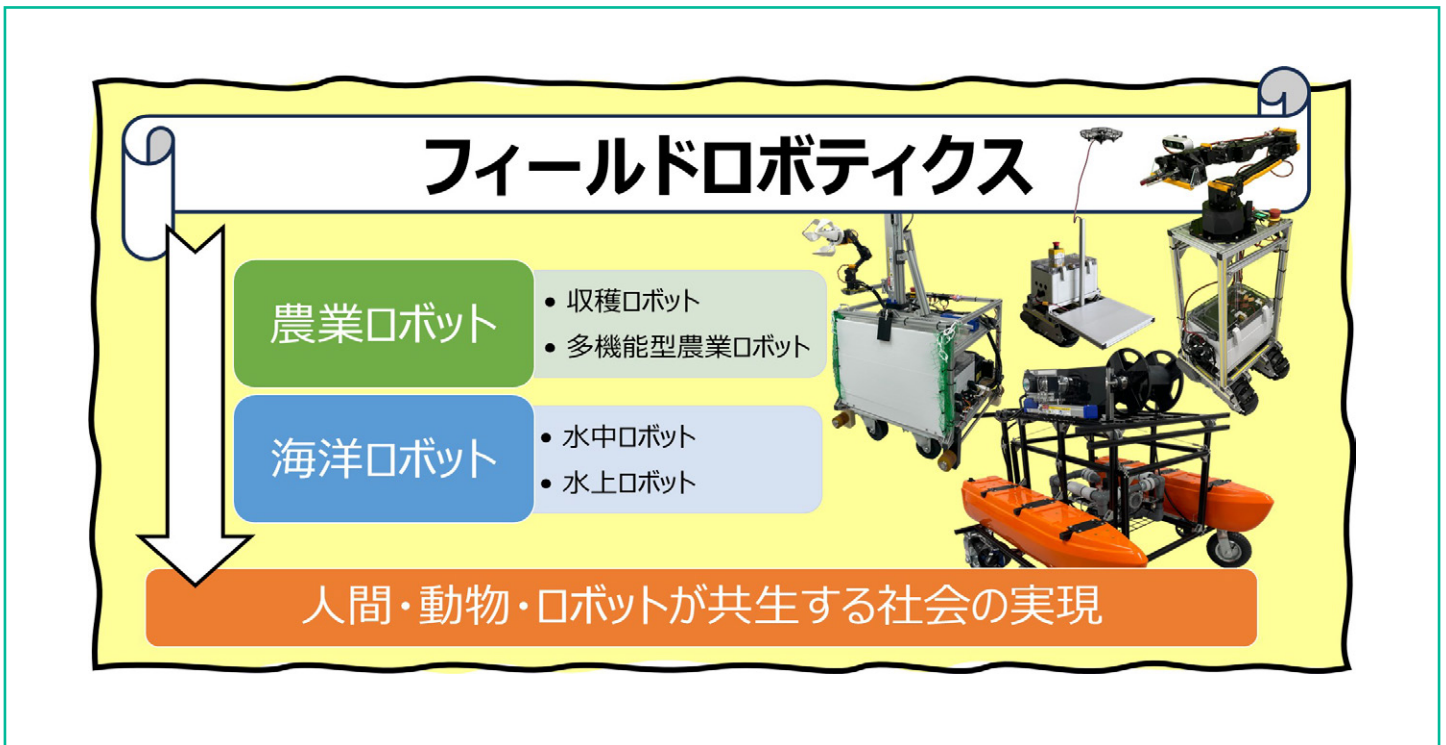
略歴

- 学歴
2016年3月：九州工業大学 情報工学部 機械情報工学科 卒業
2018年3月：九州工業大学 大学院生命体工学研究科 人間知能システム工学専攻 博士前期課程 修了
2021年3月：九州工業大学 大学院生命体工学研究科 生命体工学専攻 博士後期課程修了
職歴
- 2019年4月～2021年3月：日本学術振興会 特別研究員DC2
2021年4月～2024年3月：福岡大学 工学部 電子情報工学科 助教
2024年4月～（現在に至る）：大阪公立大学 大学院工学研究科 機械系専攻 助教

目指すCxO像

農業現場の多様な課題に向き合いながら、現場目線と学術的知見を融合できる自らの強みを活かし、農業分野における持続可能なイノベーションを切り拓いていきます。

ビジネスモデル



技術シーズ

葉芽採取エンドエフェクタの開発



自然言語指示フレームワークの構築

